
ヤマアラシジレンマ

卯月弥生

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヤマアラシジレンマ

【Nコード】

N5015B

【作者名】

卯月弥生

【あらすじ】

私はヤマアラシ。触った人を傷つけるの。でも本当は相手を抱きしめたい。強く強く

あるところに三人の男がいました

「誰か私を愛してください。一生懸命努力しますから」

「誰か私を愛してくれるの？どうやったら愛してくれるの？」

「誰も私を愛してくれない。どうせなにやっただって無駄さ」

「私は人の倍頑張っている。それでも愛してもらえない。今度は違う方法を取ってみよう」

「私はどうやったら愛してもらえるんだろう？こうすればいいのかな？ああすればいいのかな？」

「私は誰にも愛してもらえない。私を愛してくれる人なんていないんだ」

「誰か私を愛してよ！こんなに頑張っているじゃない！」

「誰か私を愛してくれる？何をすれば愛してくれる？」

「誰も私を愛してくれない。どんなに辛くても愛してくれない」

「誰か私を愛してよ！」

「誰か私を愛してくれる？」

「誰も私を愛してくれない」

「誰かが愛してくれるなら」

「他には何も望みはしない」

「誰かが抱きしめてくれるなら」

「もうそれだけでかまわない」

「ヤマアラシは腹を向けて抱き合わなければならない」

「相手に弱点を見せなければならない」

「私は相手の腹にも針がついている気がする」

「本当は抱きしめたいのに、傷つくのをおそれている」

「そんな私も、腹に針をはやしている」

「抱きしめたいのに、傷つきたくないから、寄せないし、近寄らない」

「苦しい、苦しい」

「誰も愛せないけど、愛したいし、愛されたい」

「それができないなら」

「もし誰も愛せないのなら」

「」「それなら 死んでしまおうか」「」

そして僕は三人の私と一緒に首を吊った

100人が悲しむふりをして、50人が同情し、10人が悲しんで、1人が泣いた

10年後、僕を知っている人は10人になった

1人が死んで、僕はいなくなった

(後書き)

い ヤマアラシジレンマに興味を持った方は、ぜひググってみてください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5015b/>

ヤマアラシジレンマ

2010年10月11日17時50分発行